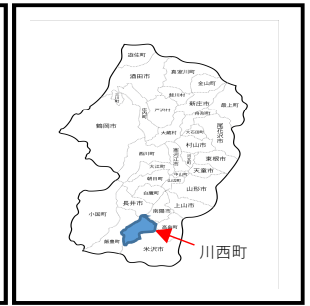




かんお まさお
川西町 **神尾 政雄** さん

和牛の子牛生産を行いながら、地域和牛の振興と後継者育成に取り組んでいます。



経営のきっかけ・こだわり・思いをお聞かせください。

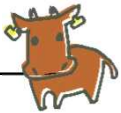
農協に勤務し畜産担当となった50年ほど前に、ある方から「農協の牛担当者だったら“プレイングマネージャー”でなければならぬだろう」と言われたことがきっかけで和牛の飼育を始めました。

現在は、川西町の玉庭放牧場にある畜産団地にて、繁殖和牛を飼育し子牛の生産を行いながら後継者育成にも力を入れています。

1人で管理できる頭数の規模で、地域で生産された飼料を与え、気候風土にあった「いい牛」を育てていくことで経営を充実させていきたいと考えています。



牛舎にて（写真提供：神尾政雄さん）



農業の魅力についてお聞かせください。

人（生産者）、牛、草、技術、仲間の5つが揃えば強い産地を作ることができ、「いい牛」が育ちます。

仲間と共に牛飼いの基本である草を作り、ワクワクしながら牛を育てることに魅力を感じます。



熱心に話をしてくださった神尾政雄さん



今後の目標や夢、将来展望をお聞かせください。

Iターン等の新規就農者と一緒に牛を育てるノウハウを共有し、若い人のみずみずしい感性を取り入れながら、仲間を増やしていくことです。

置賜盆地の気候風土にあった牛群を育て、地域性に富んだ和牛を増やしていくことが大切です。

地域の繁殖和牛農家が育てた子牛が、美味しい米沢牛になるように育ててくれれば嬉しいです。

